

国立大学法人一橋大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>⑤ 学部においては、短期プログラムを創設し、短期の派遣及び受入を推進する。海外語学研修の実施等を含め、交流協定校を中心に毎年300名程度を派遣するとともに、受入も同程度を目指す。</p> <p>また、学士課程国際プログラムを創設し、長期の受入を充実させる。大学院では、ダブル・ディグリー等により海外の大学との連携関係を強化する。</p> <p>⑥ 学士課程においては、実社会での実践的運用力の基礎となる英語コミュニケーション能力を向上させるための教育を行い、大学院課程においては、英語の高度運用能力養成プログラムを実施する。</p>	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>⑤ 学部においては、短期プログラムを創設し、短期の派遣及び受入を推進する。海外語学研修の実施等を含め、交流協定校を中心に毎年300名程度を派遣するとともに、受入も同程度を目指す。</p> <p>また、平成30年度までに当該年度以降の新入生全員を対象とした<u>海外短期語学留学を必修化することを目指し、そのための準備として調査的派遣留学を実施し、段階的に規模を拡大する。</u></p> <p>さらに、学士課程国際プログラムを創設し、長期の受入を充実させる。大学院では、ダブル・ディグリー等により海外の大学との連携関係を強化する。</p> <p>⑥ 学士課程においては、実社会での実践的運用力の基礎となる英語コミュニケーション能力を向上させるための教育を行い、大学院課程においては、英語の高度運用能力養成プログラムを実施する。</p> <p>また、学生の国際流動性を更に高めるため、平成27年度までに<u>導入学期の創設を含む学期改革案を策定するとともに、これに伴うカリキュラム改革を中心とした学士課程プログラムの改革案を策定する。</u></p>	<p>国立大学改革強化推進補助事業等の実施に伴う計画の変更</p>

(新規)

⑨ 既に実施されている男女共同参画教育・人権教育を集約し、大学全体のプログラムとして合理的な運営体制を作り、これらの教育をさらに充実させる。

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置

① 世界最先端の研究情報の共有と重点領域の設定のため、部局横断的研究組織を戦略的見地から検討する。この目的を達成するため、「一橋大学研究機構(仮称)」を設立し、研究カウンシルのもとで検討を進める。

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

⑤ 教員の再雇用制度を促進する。また、女性教員、外国人及び外国での教育経験を持つ教員の増加を図る。

⑨ 我が国初のチューニング[※]に関する組織を平成26年度までに設置し、大学教育の国際的な互換基盤を整備するため、チューニングによるカリキュラム調整などを行う。また、アジアにおけるチューニングの中核としてアジア圏の諸大学と共同で「Tuning Asia」を組織するための準備を行うとともに、「Tuning Europe」や「Tuning USA」などと高等教育の国際流動化のための連携を進める。

⑩ 既に実施されている男女共同参画教育・人権教育を集約し、大学全体のプログラムとして合理的な運営体制を作り、これらの教育をさらに充実させる。

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置

① 世界最先端の研究情報の共有と重点領域の設定を目的とした部局横断的研究組織「一橋大学研究機構」を設立し、研究カウンシルのもとで検討を進める。

また、教育研究の多角化、学際化、グローバル化の促進を図るため、平成26年度までに一橋大学社会科学高等研究院を設置し、世界水準の教育研究を展開する。

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

⑤ 教員の再雇用制度を促進する。また、女性教員、外国人及び外国での教育経験を持つ教員の増加を図る。

多様な人材を確保しグローバル化を推進するため、人事・給与システムの弾力化に取り組む。特に、適切な業績評価体制を整

2 [※] 「チューニング」とは、楽器を「調律」するように、教科や課程の到達目標、学習内容の詳細、養成される能力、課程修了後の成果等を大学間で比較・調整・共有し、教育内容や制度の等価性や連続性について共通の理解を形成するプロセスである。これにより、単位・学位認定の互換基盤が確保され、大学教育の国際通用性が向上し、学生の国際流動性が促進される。

<p>⑦ 学長のリーダーシップのもと、本学の教育研究を戦略的に向上させるための経費として「大学戦略推進経費」を確保し、重点配分する。</p>	<p><u>備して年俸制を導入・促進する。</u></p> <p>⑦ 学長のリーダーシップのもと、本学の教育研究を戦略的に向上させるための経費として「大学戦略推進経費」を確保し、重点配分する。</p> <p><u>また、グローバル化に対応するため、教育研究組織の再編成や学内資源の再配分等を戦略的・重点的に行う。</u></p>	
--	--	--